

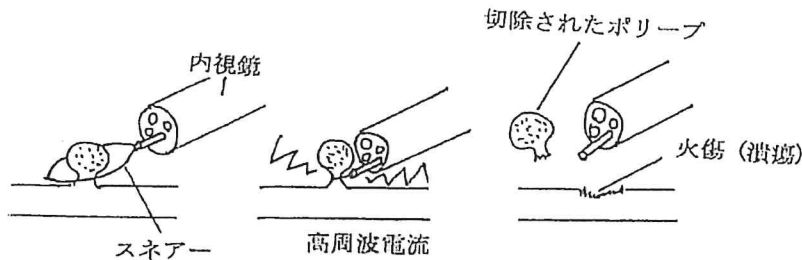
内視鏡的大腸ポリープ切除術を受けられる方に

内視鏡的大腸ポリープ切除術について

あなたの大腸にはポリープと呼ばれるキノコのような腫瘍ができています。この腫瘍は大部分が良性腫瘍ですが、将来癌化する危険性を持っており、またすでに癌化している場合もあります。したがって大腸ポリープは発見され次第、切除治療をすべき病気と言えます。これらのポリープは、以前は外科的に開腹して除去したのですが、現在は内視鏡を使用することにより、お腹を切らずに切除することができます。

ポリープの切除法

内視鏡で観察しながら、図のようにポリープの根元に針金で作ったスネアーをかけ、これを締め付けながら高周波電流を流すと、くびれた部分に高熱が発生しポリープを焼き切ることができます。熱さや痛みを感じることはありません。切除したポリープは回収して、癌の有無を調べることになります。ポリープを切除した部位は、クリップを使って粘膜を合わせることがありますが、クリップは一定の時間の後に自然に脱落して便と一緒に排出されますので、改めて内視鏡検査を受ける必要はありません。



ご注意

1. 検査の際に使用する薬について

検査を楽に受けていただくため、鎮痛剤と鎮静剤を注射します。ただし、全身麻酔の様に完全に意識がなくなる状態になるわけではありません。鎮静剤の効果は人によって異なりますが、帰宅後も眠気やふらふら感が続くことがありますので検査当日は絶対に車、バイク、自転車などの乗り物を運転したり、スポーツをしたりしないで下さい。なお、鎮痛剤・鎮静剤を使用しないで検査を受けることは可能ですが、検査に苦痛を伴うことがあることを御了承ください。また、妊娠をしている方や妊娠の可能性のある方には、薬は使用できません。

鎮痛剤・鎮静剤の投与により、注射部の炎症、皮下出血、筋障害、神経損傷、静脈炎、また血圧低下、ショック、呼吸抑制、呼吸停止などの偶発症が起こることがあります。さらに穿孔(腸に穴が開くこと)などの内視鏡検査の偶発症が増加することも報告されています。日本消化器内視鏡学会の全国集計(2007 年)では鎮痛剤・鎮静剤に関連した偶発症による死亡率は、0.00003%(約 330 万人に1人)でした。万一、偶発症が発生した場合は、他院への紹介も含め、できる限りの治療をいたします(その際の診療も通常の保険診療にて行います)。

2. 内視鏡的ポリープ切除術に伴う偶発症について

内視鏡的ポリープ切除術は、高熱でポリープを焼き切る一種の手術です。切除の後しばらくの間、火傷による潰瘍ができるので、一定の期間は、潰瘍からの出血や穿孔などの偶発症の危険性があります。

日本消化器内視鏡学会の全国集計(2007 年)では、偶発症の発生率は、0.274%(約 360 人に 1 人)です。偶発症で一番多いのは出血で発生率は、0.224%(約 450 人に 1 人)、次は穿孔で発生率は0.0226%(約 4400 人に1人)です。偶発症で手術が 0.0127%(約 7800 人に 1 人)の方に施行されました。また、ごく少数ですが死亡例もあります。

3. 偶発症の発生を防ぐために

偶発症の発生をできるだけ避けるため、内視鏡的ポリープ切除術後の 1 週間は生活の規制があります。

- ① 内視鏡的ポリープ切除術を行った当日は、食事や入浴ができません。水分補給(水、お湯、お茶、スポーツドリンクは可、その他のジュース、コーヒー、紅茶、牛乳などは不可)を行い、ベッド上で安静にしてください。
- ② 内視鏡的ポリープ切除後、2 日目と 3 日目はご自宅で安静にお過ごしください。散歩や買い物などによる外出もお止めください。食事や入浴にも別紙に示すような制限があります。
- ③ 内視鏡的ポリープ切除後、4 日目から 7 日目までは、近所への外出やデスクワークは可能ですが、過激な労働・スポーツ(ゴルフやウォーキングなども含む)・飲酒・遠出(特に航空機や新幹線での移動)はできません。出血や穿孔などの偶発症の発生がなければ、食事は 5 日目からは通常の食事で構いません。
- ④ 偶発症が発生した場合は、当クリニックあるいは提携病院で治療しますので、内視鏡的ポリープ切除後 1 週間は、常に 90 分以内に当クリニックに来院することができる場所にいてください。万一、偶発症が起きた場合には外科手術

も含めて最善の処置を行います(その際の診療も通常の保険診療にて行います)。

以上のことをご理解いただいてスケジュールを調整してください。

4. 抗血栓薬に関して

治療前にワーファリン、バファリン、パナルジン、アスピリン、エパデールなどの血液をさらさらにするお薬を飲んでおられる場合には、そのままポリープを切除すると、出血が止まらないことがあります。したがって、当クリニックでポリープを切除するためには、ポリープ切除前の一定の期間、薬を中止していただく必要があります。また、ポリープを切除後も少なくとも1週間の休薬期間が必要となります。これらのお薬を服薬されている方は、処方いただいている先生(処方医)にお薬の休薬が可能かどうかあらかじめご確認いただき、必ず処方医からの意見書をご持参下さい。

なお、薬を中止したことにより元の病気が悪化する危険が高い場合もありますので、自分の判断で薬を中止することは、絶対にお止めください。薬を中止できない場合は、入院治療ができる病院へご紹介します。

5. 切除したポリープについて

切除したポリープは病理検査に提出し、癌が含まれていないかどうかを検査しますが、癌が腸の壁に深く食い込んでいる場合には、内視鏡による治療だけでは不完全なことがあります。この場合には外科手術によって腸の切除を追加する必要がありますので、治療が可能な病院へご紹介します。

以上の説明でご了承いただけた方は同意書にご署名の上、受付にご提出下さい。

ご承諾を得られない場合には検査を中止します。また、同意書を提出された後でも、検査を中止する事ができますので、いつでもお申し出下さい。

田坂記念クリニック

院長 加藤 雅士

大腸内視鏡的ポリープ切除術の同意書

田坂記念クリニック

院長 加藤 雅士 殿

- | | | |
|---|----|-----|
| ➤ 検査の際に鎮痛剤・鎮静剤を使用することに際して、偶発症が起こり得ることを理解し、使用に同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 検査日には、乗り物を運転したりスポーツをしたりしないことに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 内視鏡的ポリープ切除術に対して、偶発症が起こり得ることを理解し、治療を受けることに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 治療当日は、食事ができず水分補給のみとなること、入浴できないこと、自宅でベッド上安静を保つことに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 治療後2日目と3日目は、外出しないで自宅で安静に過ごすことに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 治療後2日目から4日目までの食事は、軟食（軟らかくて消化が良く刺激の少ない食事）にすることに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 治療後4日目から7日目までは、激しい労働やスポーツ、遠出（飛行機や新幹線による移動も含む）をしないことに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 治療後1週間は、アルコールを飲まないことに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ 治療後1週間は、田坂記念クリニックに90分以内で到着することができる場所に常時いることに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ （抗血栓薬を服用中の方へ）
抗血栓薬を一定期間服用中止できることを主治医に確認し、治療を中断することに同意します。 | はい | いいえ |
| ➤ （女性の方へ）
妊娠の可能性はありません。 | はい | いいえ |
| ➤ ポリープ切除予定の方は、必ず金属類を全て外して下さい。
（指輪、入れ歯、湿布類、カイロ類、ヘアピン、ワイヤー入りブラジャー、ヒートテック等） | はい | いいえ |

年 月 日

ご住所

お電話番号

ご芳名

印

（ご署名のみでも可）

大腸内視鏡的ポリープ切除術の術前検査について

ポリープを切除する場合は、切除面からの出血が止まることを確認する必要があります。これまで、ポリープを切除する可能性があるすべての方に血液凝固機能検査を行っていましたが、最近の知見では、問診で出血傾向がないことがはっきりしている方に対しては、血液検査を行う必要がないことが明らかになりました。

そのために、いくつか質問をさせていただきます。下記の項目に当てはまる場合は、□の中にレ印を入れてください。

- ☐ 歯肉からの大量出血や頻回な鼻出血がある
- ☐ 筋肉内や関節内の出血を指摘されたことがある
- ☐ 知らない間に、皮膚に大きな青あざができてことがある
- ☐ 抜歯、生検、手術の際に出血が止まりにくかったことがある
- ☐ 肝臓・腎臓・血液の病気にかかったことがある
- ☐ 脳梗塞や心筋梗塞にかかったことがある
- ☐ 輸血を受けたことがある
- ☐ 現在、血液をサラサラにする抗血栓薬を内服している
- ☐ ご家族に出血しやすい病気や、手術後に大量出血した方がいる

(日本内科学会雑誌 109 巻 7 号より抜粋)

上記の質問項目に ☒ がある方は、血液凝固機能をチェックする必要がありますので、採血をさせていただきます。

年 月 日	ご署名
-----------------------------	-----

ご協力ありがとうございました。